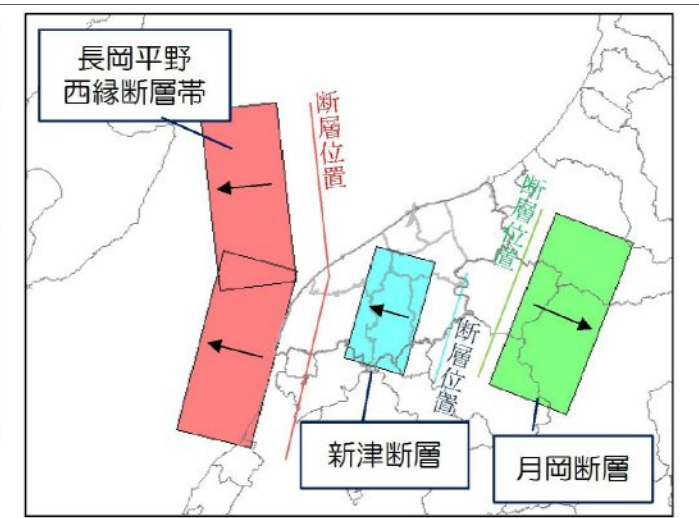


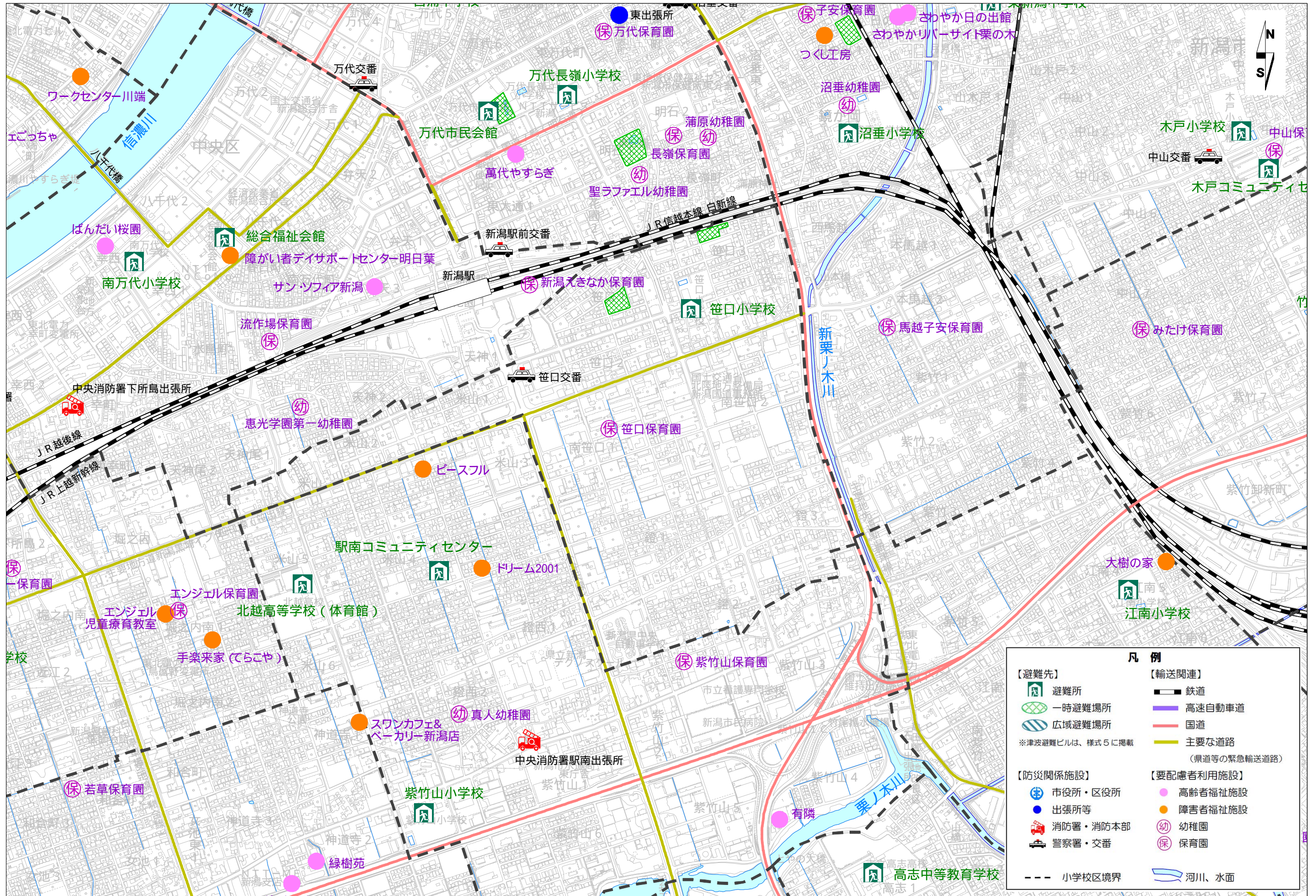
	長岡平野 西縁断層帯	新津断層	月岡断層
地震の規模: モーメント マグニチュード	7.46 (気象庁マグニチュード 7.9に相当)	6.45 (気象庁マグニチュード 6.7に相当)	6.76 (気象庁マグニチュード 7.1に相当)
(参考※)	平均活動間隔 約 1,200 年~3,700 年 断層の活動性 3m/千年程度	明確な活動性は明らか になっていない。 月岡断層より、活動性 は低いと考えられる。	平均活動間隔 7,500 年以上 断層の活動性 0.4m/千年程度

※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。
【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】
過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

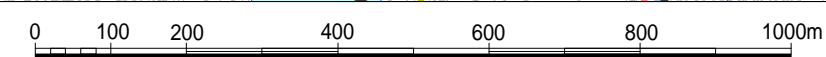
<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>
モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。

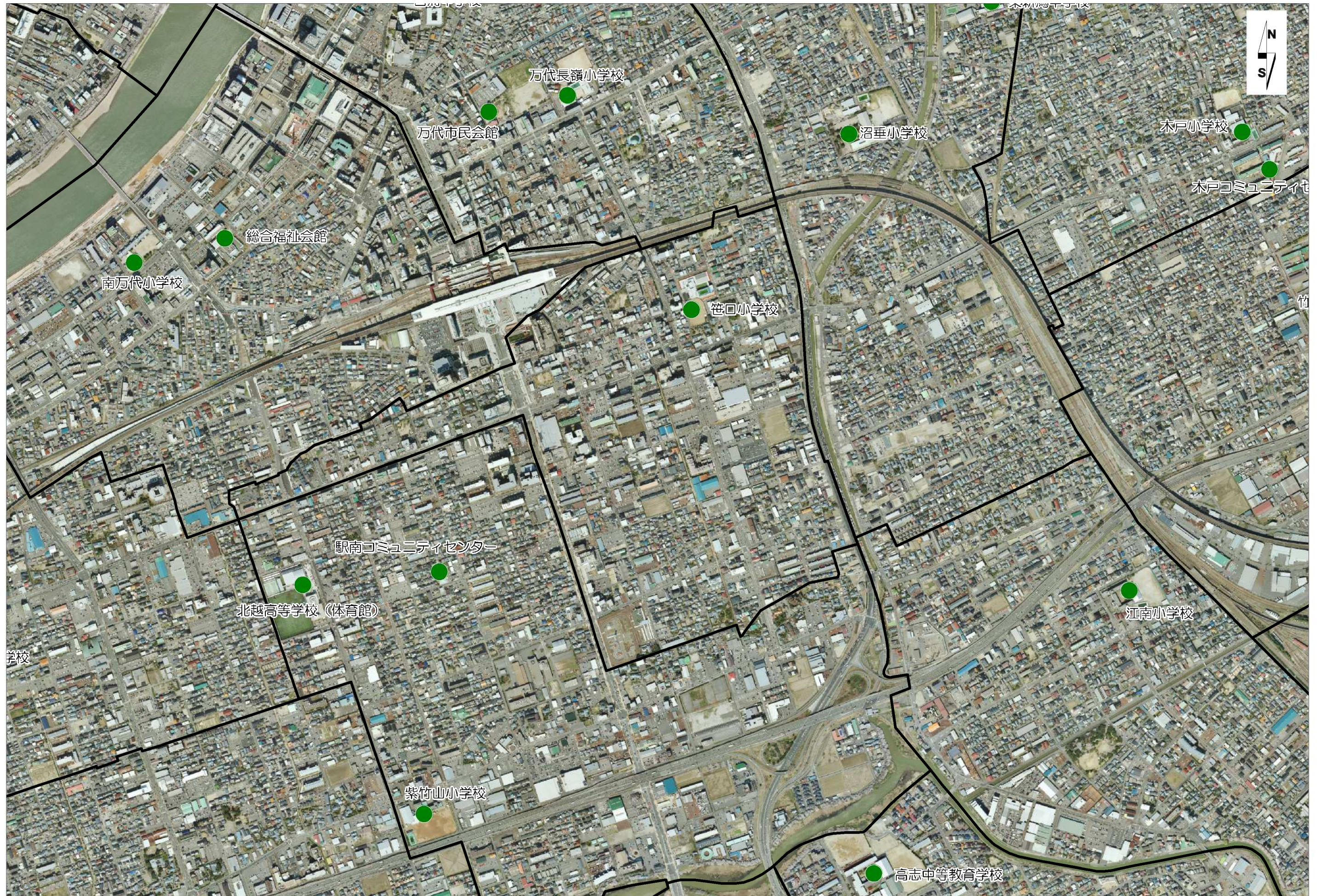


← は、断層の傾きを示しています。



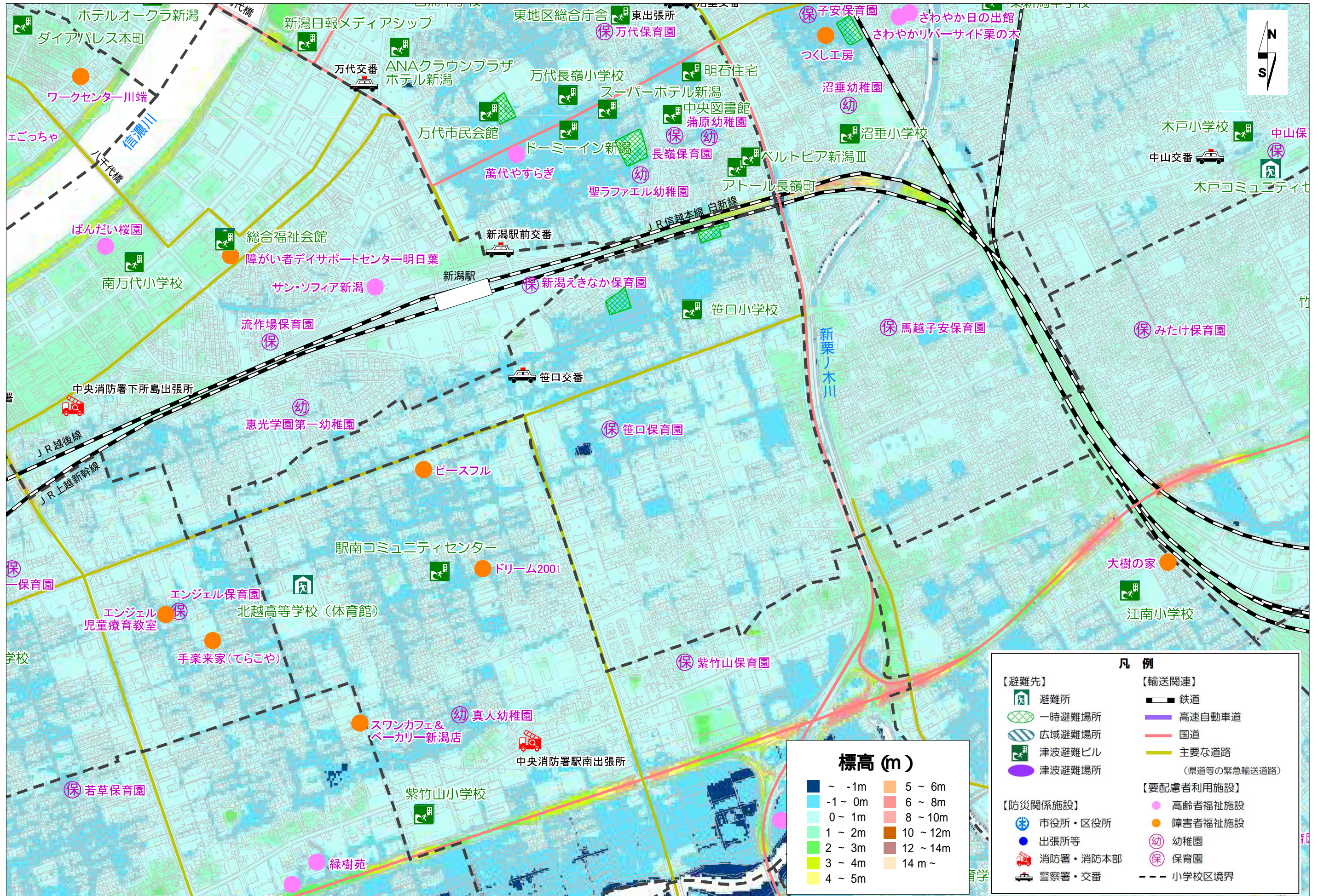
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)





様式5 標高分布図

笹口小学校区

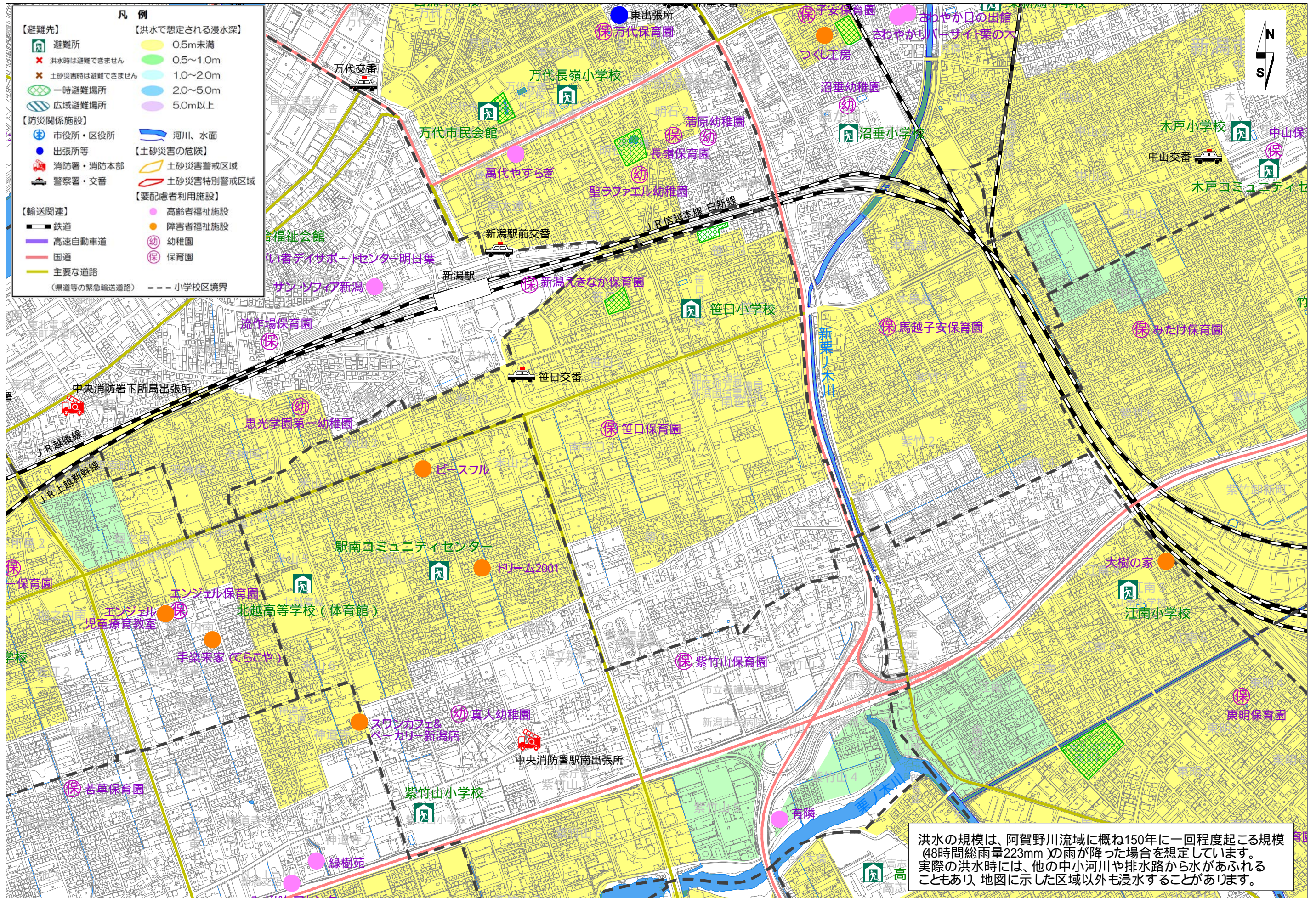


[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年) 5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)

0 100 200 400 600 800 1000m

様式6-1 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（阿賀野川）

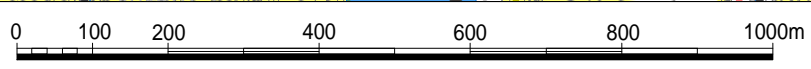
笹口小学校区



- 凡例**
- 【避難先】
- 避難所
 - 洪水時は避難できません
 - 土砂災害時は避難できません
 - 一時避難場所
 - 広域避難場所
- 【防災関係施設】
- 市役所・区役所
 - 出張所等
 - 消防署・消防本部
 - 警察署・交番
- 【輸送関連】
- 鉄道
 - 高速自動車道
 - 国道
 - 主要な道路
(県道等の緊急輸送道路)
- 【洪水で想定される浸水深】
- 0.5m未満
 - 0.5~1.0m
 - 1.0~2.0m
 - 2.0~5.0m
 - 5.0m以上
- 【土砂災害の危険】
- 土砂災害警戒区域
 - 土砂災害特別警戒区域
- 【要配慮者利用施設】
- 高齢者福祉施設
 - 障害者福祉施設
 - 幼稚園
 - 保育園
- 河川、水面
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- 高齢者福祉施設
- 障害者福祉施設
- 幼稚園
- 保育園
- 小学校区境界

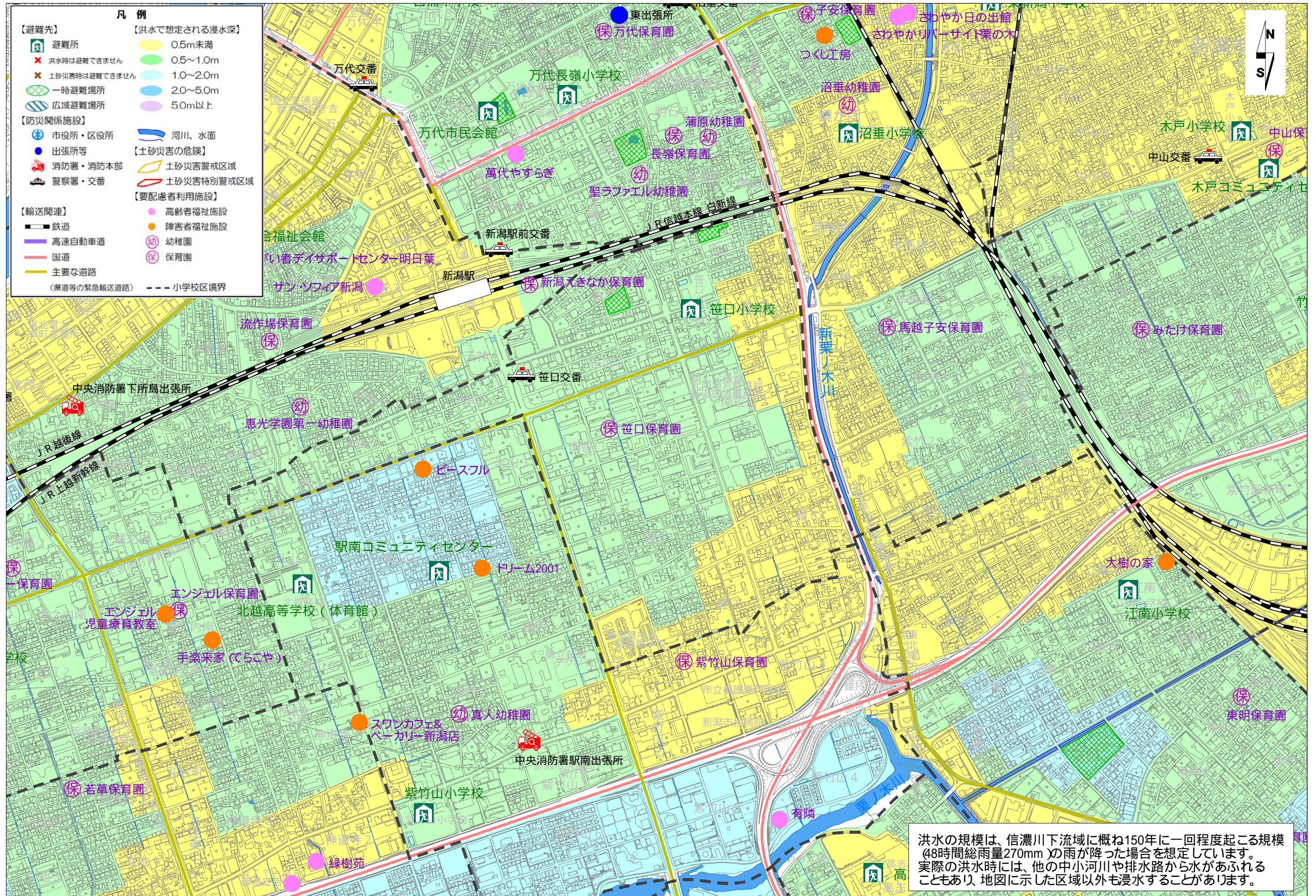
洪水の規模は、阿賀野川流域に概ね150年に一回程度起こる規模(48時間総雨量223mm)の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年) 阿賀野川浸水想定区域(国土交通省,平成14年1月31日)



様式6-2 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（信濃川下流）

笹口小学校区

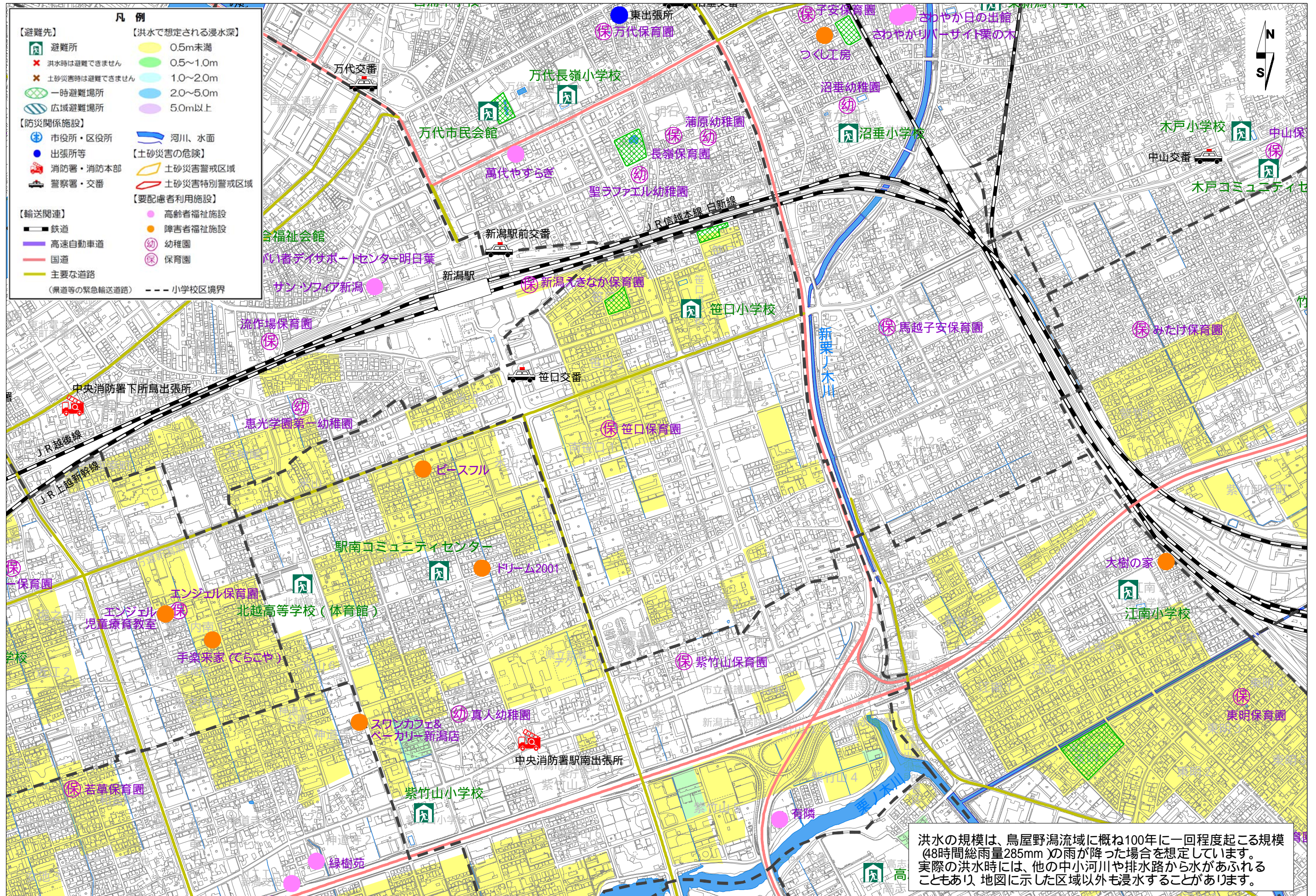


[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)
信濃川下流浸水想定区域(国土交通省,平成14年4月30日)



様式6-3 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（栗ノ木川上流・鳥屋野潟・鳥屋野潟放水路）

笹口小学校区



[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)
栗ノ木川上流・鳥屋野潟・鳥屋野潟放水路浸水想定区域(新潟県,平成18年8月25日)

